

東海北陸厚生局長 殿

国立大学法人浜松医科大学
学長 中村 達

浜松医科大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	35.1 人
--------	--------

 (注)前年度の研修医の実績を記入すること
- 4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	300 人	86 人	325.3 人	看 護 補 助 者	55 人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0 人
歯 科 医 師	12 人	2 人	12.4 人	理 学 療 法 士	11 人	臨 床 検 査 技 師	55 人
薬 剤 師	42 人	0 人	42.0 人	作 業 療 法 士	5 人	衛 生 検 査 技 師	0 人
保 健 師	0 人	0 人	0.0 人	視 能 訓 練 士	3 人	そ の 他	0 人
助 産 師	28 人	3 人	30.1 人	義 肢 装 具 士	0 人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0 人
看 護 師	536 人	41 人	563.0 人	臨 床 工 学 士	10 人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	0 人
准 看 護 師	3 人	1 人	3.6 人	栄 養 士	0 人	そ の 他 の 技 術 員	31 人
歯 科 衛 生 士	1 人	0 人	1.0 人	歯 科 技 工 士	1 人	事 務 職 員	114 人
管 理 栄 養 士	8 人	5 人	11.8 人	診 療 放 射 線 技 師	31 人	そ の 他 の 職 員	20 人

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3. 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること。
 それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計数を記入すること。

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たりの平均入院患者数	496.7 人	12.3 人	509.0 人
1日当たりの平均外来患者数	1,200.6 人	39.4 人	1,240.0 人
1日当たりの平均調剤数			587.8 剤

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	53人	・膿疱性乾癬	14人
・多発性硬化症	26人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・重症筋無力症	60人	・原発性胆汁性肝硬変	8人
・全身性エリテマトーデス	209人	・重症急性膵炎	11人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	61人
・再生不良性貧血	48人	・混合性結合組織病	22人
・サルコイドーシス	174人	・原発性免疫不全症候群	3人
・筋萎縮性側索硬化症	12人	・特発性間質性肺炎	41人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	207人	・網膜色素変性症	15人
・特発性血小板減少性紫斑病	76人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	28人	・肺動脈性肺高血圧症	14人
・潰瘍性大腸炎	181人	・神経線維腫症	22人
・大動脈炎症候群	15人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	23人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	6人
・脊髄小脳変性症	28人	・ライゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	6人
・クローン病	133人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	23人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患	158人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4人
・後縦靭帯骨化症	67人	・肥大型心筋症	4人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	16人	・ミトコンドリア病	5人
・ウエゲナー肉芽腫症	13人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	35人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	6人
・多系統萎縮症	15人	・黄色靭帯骨化症	12人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害	259人
		合計	2,146人

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	難治性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究	大西一功	腫瘍センター	500,000 円	補委 (独)国立がん研究センター
2	成育稀少疾患の症例登録と長期予後追跡 先天性内分泌疾患の症例登録と長期予後追跡	緒方 勤	小児科学	5,000,000 円	補委 (独)国立成育医療研究センター
3	新規深部静脈血栓予知マーカー (APC感受性) 筋力測定法の開発	金山尚裕	産婦人科学	1,180,000 円	補委 (独)科学技術振興機構
4	自閉症の病態研究と新たな診療技法(診断・予防・治療)の開発	森 則夫	精神医学	50,700,000 円	補委 文部科学省研究振興局
5	早期診断マルチバイオマーカー開発(メタボローム解析による血中・体液中代謝物バイオマーカーの開発における腎がん患者の組織、血清、膀胱がん患者の血清、尿の採取および診断)	高山達也	泌尿器科	2,000,000 円	補委 文部科学省研究振興局
6	「創薬コンセプトに基づく戦略的治療デザインの確立」(白血病ゲノムに基づく個別化治療の確立における検体集積・CML臨床研究)	大西一功	腫瘍センター	5,000,000 円	補委 文部科学省研究振興局
7	成長障害の診断・治療戦略の開発 成長障害の病態解明に関する研究	緒方 勤	小児科学	1,000,000 円	補委 (独)国立成育医療研究センター
8	悪性腫瘍血管表面特異的新規ペプチドを用いた医薬品開発にかかる試験研究	杉原一廣	産婦人科学	3,000,000 円	補委 (独)科学技術振興機構
9	医師主導治験等の運用に関する研究	渡邊 裕司	臨床薬理学講座	3,860,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
10	病院情報システムのデータを利用した臨床指標に関する研究	木村 通男	医療情報部	5,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
11	性分化疾患の実態把握と病態解明ならびに標準的診断・治療指針の作成	緒方 勤	小児科学講座	8,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
12	医薬品等の市販後安全対策のための医療情報データベースを活用した薬剤疫学的手法の確立及び実証に関する研究	川上 純一	薬剤部	8,344,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
13	治験の実施に関する研究[5-アミノレブリン酸]	大園 誠一郎	泌尿器科学講座	3,400,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
14	慢性疾患における多剤併用と副作用発現との関連に係る疫学調査の手法に関する研究	川上 純一	薬剤部	900,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
15	かかりつけ医/非腎臓専門医と腎臓専門医の協力を促進する慢性腎臓病患者の重症化予防のための診療システムの有用性を検討する研究	藤垣 嘉秀	内科学第一講座	200,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
16	高悪性度筋肉非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	大園 誠一郎	泌尿器科学講座	130,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
17	腫瘍脈管系を標的としたがん浸潤転移とがん幹細胞制御法の確立	平川 聡史	皮膚科学講座	1,500,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
18	アトピー性皮膚炎の難治性皮膚病変の病態解析と病態に基づいたピンポイント新規治療の開発	戸倉 新樹	皮膚科学講座	1,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
19	ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備	戸倉 新樹	皮膚科学講座	800,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
20	成人難治性白血病におけるバイオマーカーに基づく個別化治療法の確立	大西 一功	腫瘍センター	1,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
21	保健指導等を活用した総合的な糖尿病治療の年代別要因を踏まえた研究	渡邊 裕司	臨床薬理学講座	500,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
22	先天性異常の疾患群の診療指針と治療法開発をめざした情報・検体共有のフレームワークの確立	緒方 勤	小児科学講座	5,550,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
23	生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証と生殖補助医療技術の標準化に関する研究	緒方 勤	小児科学講座	2,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
24	電子的医療情報の利活用に必要な標準化の整備と普及策に関する研究	木村 通男	医療情報部	1,500,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
25	次世代シーケンサーを駆使した稀少遺伝性難病の原因解明と治療法開発の研究	緒方 勤	小児科学講座	5,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
26	慢性腎臓病(CKD)に関する普及啓発のあり方に関する研究	藤垣 嘉秀	内科学第一講座	100,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
27	CKD進展予防のための特定健診と特定保健指導のあり方に関する研究	藤垣 嘉秀	内科学第一講座	2,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
28	好酸球性膿疱性毛包炎の病態解明と新病型分類の提言	戸倉 新樹	皮膚科学講座	1,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
29	間脳下垂体機能障害に関する調査研究	沖 隆	第二内科	2,400,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
30	重症薬疹の病態解明および発症予測、重症度予測マーカーの検索	戸倉 新樹	皮膚科学講座	2,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
31	視覚系の稀少難治性疾患群に関する症例データベース構築	堀田 喜裕	眼科学講座	2,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
32	びまん性肺疾患に関する調査研究	千田 金吾	内科学第二講座	700,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
33	治療抵抗性統合失調症に対する抑肝散の有用性と安全性に関する多施設共同二重盲検ランダム比較試験	森 則夫	精神医学講座	1,300,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
34	治療抵抗性統合失調症に対する治療戦略のためのデータベース構築に関する研究	岩田 泰秀	精神科神経科	400,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
35	脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	松山 幸弘	整形外科講座	1,500,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
36	人工妊娠中絶、妊産婦死亡の地域格差に関する研究	金山 尚裕	産婦人科学講座	1,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
37	レリーワイル症候群の診断法確立と治療指針作成	緒方 勤	小児科学講座	1,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
38	被災後の子どものこころの支援に関する研究	杉山 登志郎	児童青年期精神医学講座(寄附講座)	2,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
39	医薬品の国際共同開発及び臨床データ共有の推進に向けた東アジアにおける民族的要因に関する研究	渡邊 裕司	臨床薬理学講座	3,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費
40	金属アレルギーの革新的診断・予防・治療法の開発研究	戸倉 新樹	皮膚科学講座	1,700,000 円	補委 厚生労働省科学研究費

小計
40件

41	標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	大園 誠一郎	泌尿器科学講座	400,000	円	補委	厚生労働省科学研究費
42	ヒト疾患解析にもとづく性差構築機序の解明	緒方 勤	小児科学	28,800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
43	インプリンティング疾患発症機序の解明	緒方 勤	小児科学	10,700,000	円	補委	文部科学省科学研究費
44	自閉症の子測兆候及び低出生体重と社会認知障害との関連研究を主とした縦断的疫学研究	武井 教使	子どものこころの発達研究センター	5,900,000	円	補委	文部科学省科学研究費
45	自閉症の脳内コリン系-PETによる検討	鈴木 勝昭	子どものこころの発達研究センター	2,000,000	円	補委	文部科学省科学研究費
46	自閉症の生物学的早期診断法の開発に関する研究	森 則夫	精神医学	1,100,000	円	補委	文部科学省科学研究費
47	炎症性サイトカインによるリンパ管膜蛋白の制御機構	平川 聡史	皮膚科学	4,500,000	円	補委	文部科学省科学研究費
48	脳画像解析とCNV解析の融合による双極性自閉症と家族性自閉症の病態解明	中村 和彦	精神医学	5,400,000	円	補委	文部科学省科学研究費
49	子宮内膜症に対する新規分子標的治療薬の実用化	杉原 一廣	産婦人科学	4,200,000	円	補委	文部科学省科学研究費
50	胎児プログラミングのエピゲノミクスを中心としたオミックス解析による探索的研究	前川 真人	臨床検査医学	6,100,000	円	補委	文部科学省科学研究費
51	抗血管新生治療中における癌微小環境変化の解析	今野 弘之	外科学第二	5,300,000	円	補委	文部科学省科学研究費
52	羊水寒栓症の救命法と予知・予防法の開発	金山 尚裕	産婦人科学	7,900,000	円	補委	文部科学省科学研究費
53	胎生期低栄養と良好な授乳期発育が成人期の生活習慣病発症におよぼす影響の基礎的解析	伊東 宏晃	周産母子センター	5,800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
54	腸管アルカリフォスターゼが炎症性腸炎疾患の粘膜防御機構に果たす役割	杉本 健	内科学第一	700,000	円	補委	文部科学省科学研究費
55	高分子ナノセル型インドシアニンググリーンを用いたがん診断・治療技術の開発	増本 一真	歯科口腔外科学	800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
56	臨床薬理学的ツールとしての新規血管内皮機能評価法の確立	竹内 和彦	臨床薬理学	400,000	円	補委	文部科学省科学研究費
57	糖尿病心におけるレニン-アンジオテンシン系の細胞内直接作用についての研究	佐藤 洋	第三内科	500,000	円	補委	文部科学省科学研究費
58	気管支随伴リンパ組織内細胞動態からみたT細胞非依存不活化ワクチンの投与方法の工夫	千田 金吾	内科学第二	1,100,000	円	補委	文部科学省科学研究費
59	近位尿管S3セグメント遠位領域の前駆様細胞の存在・分裂様式と多剤耐性形質の検討	藤垣 嘉秀	第一内科	1,000,000	円	補委	文部科学省科学研究費
60	神経変性症における脳内鉄サイクル制御・調節障害のメカニズム研究	宮嶋 裕明	内科学第一	800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
61	SLC19A3変異マウスを用いたウエルニツゲ様脳症の病態解析	河野 智	第一内科	500,000	円	補委	文部科学省科学研究費
62	皮膚樹状細胞への成人T細胞性白血病リンパ腫ウイルス感染の同定と機能解析	島内 陸寿	皮膚科学	800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
63	先端神経画像法を駆使したアルコール性前頭葉障害発生機構の解明	岩田 泰秀	精神医学	800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
64	In vivo cross-link法による治療抵抗性うつ病関連蛋白質の検索	大城 将也	精神医学	1,200,000	円	補委	文部科学省科学研究費
65	アルコール依存症者の中脳神経障害に対する脳由来神経栄養因子遺伝子多型の関与	和久田 智靖	精神医学	1,100,000	円	補委	文部科学省科学研究費
66	自閉症における記憶再構築障害とドパミン放出との関連の脳画像的解明	高貝 就	精神医学	1,000,000	円	補委	文部科学省科学研究費
67	成人自閉症の脳内グルタミン酸研究-3T MRSを用いた検討	吉原 雄二郎	精神医学	200,000	円	補委	文部科学省科学研究費
68	前方視的研究による汎性発達障害の早期徴候と支援導入ポイントの検討	藤田 梓	精神医学	1,100,000	円	補委	文部科学省科学研究費
69	ソラフェニブによる肝細胞癌多段階発癌阻止の可能性	竹原 康雄	放射線部	800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
70	四肢リンパ機能検査法の開発と応用	海野 直樹	第二外科	1,000,000	円	補委	文部科学省科学研究費
71	肝細胞癌組織中治療抵抗性細胞集団の同定とその特徴の解明	坂口 孝宣	第二外科	1,400,000	円	補委	文部科学省科学研究費
72	三次元音声可視化装置を用いた複数呼吸音の同時解析	鈴木 明	医療安全管理室	700,000	円	補委	文部科学省科学研究費
73	高尿酸血症に対するアラニングリオキシル酸変換酵素、グリオキシル酸還元酵素の測定	永田 仁夫	泌尿器科	500,000	円	補委	文部科学省科学研究費
74	近赤外線分光法による胎盤酸素化動態に胎児循環がおよぼす影響についての基礎的検討	鈴木 一有	周産母子センター	800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
75	血管内軽度低体温による虚血再灌流後の心筋保護効果:ラット孤立心筋モデルでの研究	望月 利昭	救急部	700,000	円	補委	文部科学省科学研究費
76	画像解析に基づくtissue dysoxia治療の実験的検討	青木 克憲	救急災害医学	1,100,000	円	補委	文部科学省科学研究費
77	顕微鏡質量分析による口腔癌の予後および転移マーカーの研究・分子病理診断法の開発	長田 哲次	歯科口腔外科	400,000	円	補委	文部科学省科学研究費
78	病院の地域連携・退院調整部門における評価指標確立に向けた研究	小林 利彦	医療福祉支援センター	1,400,000	円	補委	文部科学省科学研究費
79	がん転移モデルとしての悪性褐色細胞腫の解析	飯野 和美	検査部	1,300,000	円	補委	文部科学省科学研究費
80	ゲノム解析に基づく抗血小板薬内服時の上部消化管粘膜傷害予防法の確立	古田 隆久	臨床研究管理センター	1,700,000	円	補委	文部科学省科学研究費

小計
40件

81	糞便RNA検査は潰瘍性大腸炎の診療に役立てることができるのか?	金岡 繁	分子診断学	1,200,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
82	心筋における細胞内レニン(プロ)レニン受容体の役割	加藤 秀樹	内科学第三	1,100,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
83	造血器腫瘍における癌幹細胞特異的エネルギー代謝に関する基礎的研究	大西 一功	腫瘍センター	1,300,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
84	円形脱毛症に対するケモカイン、ケモカイン受容体阻害を介する新規治療戦略	伊藤 泰介	皮膚科学	900,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
85	自閉症におけるミトコンドリア機能異常の分子機構解明	アニータ・A	子どものこころの発達研究センター	1,600,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
86	人口多能性幹細胞の悪性グリオーマへの移動能の検討	徳山 勤	脳神経外科	1,200,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
87	出血性ショック時の静脈麻酔薬の薬物動態学への影響	栗田 忠代士	麻酔科蘇生科	1,100,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
88	光ファイバーカテーテルを利用した血液ブドウ糖濃度の連続測定法の開発	土井 松幸	集中治療部	1,100,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
89	腎臓微小環境のエネルギー産生におけるFABP7の機能解明と発癌予防に向けた探索	大園 誠一郎	泌尿器科学	1,200,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
90	ヒト前立腺におけるβ3-アドレナリン受容体の発現とその機能の解明	大塚 篤史	泌尿器科学	100,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
91	着床部位子宮内膜細胞のヒト絨毛性ゴナドトロピンを介する細胞内情報伝達系の解明	田村 直顕	産婦人科学	1,300,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
92	頭頸部癌における癌幹細胞の役割と新規治療法の探索	三澤 清	耳鼻咽喉科	1,100,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
93	成人の眼球運動障害の研究	佐藤 美保	眼科学	700,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
94	網膜色素変性患者の遺伝子診断システム構築:基幹施設症例の大規模収集と原因変異解析	堀田 喜裕	眼科学	1,400,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
95	口腔癌における樹状細胞の役割の解析	加藤 文彦	歯科口腔外科学	1,100,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
96	運動療法が高齢者の心筋保護効果を示すメカニズムについての研究	佐藤 重仁	麻酔・蘇生学	1,200,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
97	イマチニブ耐性慢性骨髄性白血病のBCR-ABL1遺伝子変異クローンの推移	小野 孝明	第三内科	1,000,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
98	がん性疼痛緩和に用いる鎮痛薬の個人差要因に基づく至適薬物療法の構築	川上 純一	薬剤部	1,500,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
99	改良型核酸染色による生がん幹細胞の分離と分子学的特性の網羅的解析法の確立	竹下 明裕	輸血・細胞治療部	1,700,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
100	甲状腺刺激ホルモン、副腎皮質刺激ホルモンのリニアール・ログな負の調節機構の解析	佐々木 茂和	第二内科	2,100,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
101	アスピリン起因性胃粘膜傷害におけるピロリ菌病原因子の存在意義の解明	杉本 光繁	第一内科	1,800,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
102	大動脈狭窄症の発症と進展におけるミッドカインの役割	林 秀晴	内科学第三	1,800,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
103	臨床応用へ向けた結核患者における細胞性免疫誘導型樹状細胞ワクチンの免疫応答の解析	中村 祐太郎	第二内科	1,800,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
104	肺炎球菌ワクチンが誘導するクラススイッチ機構の解明と新規ワクチンへの応用	須田 隆文	内科学第二	1,100,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
105	敗血症性急性腎傷害におけるミトコンドリア由来ダメージ関連分子パターンとの役割の検討	安田 日出夫	内科学第一	1,900,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
106	皮膚悪性腫瘍におけるセンチネルリンパ節検索パターンの解析	藤原 雅雄	形成外科	1,900,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
107	ADHDのドーパミンD1受容体とミクログリアの定量解析-PETによる病態解明	竹林 淳和	精神医学	1,500,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
108	自閉症におけるデフォルトモードネットワークの破綻とその物質的背景	小俣 圭	子どものこころの発達研究センター	2,500,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
109	出生時低酸素曝露ラットを用いた統合失調症ミクログリア仮説の検証	高橋 太郎	子どものこころの発達研究センター	900,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
110	消化管間質腫瘍に対する新規治療標的の同定	菊池 寛利	第二外科	1,500,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
111	ICG蛍光血管造影法による新たな腸管血流評価法の確立	神谷 欣志	第二外科	1,800,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
112	簡便で信頼性が高い腎臓機能モニター法の開発	権谷 紀彦	外科学第一	900,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
113	MPTPサルにおけるSTN-DBS刺激強度と効果発現に関する病態解明の研究	浅川 哲也	脳神経外科学	1,900,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
114	脊髄損傷における病態の解明と治療	松山 幸弘	整形外科	1,800,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
115	妊産婦と胎児環境における亜鉛の重要性と補充療法の有効性の検討	内田 季之	産科婦人科	1,400,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
116	頭頸部癌におけるゲノム網羅的なエピジェネティック解析	峯田 周幸	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,600,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
117	頭頸部癌アウトカム・リサーチに関する基礎的研究	高橋 吾郎	耳鼻咽喉科	2,300,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
118	出生コホート研究に拠る母乳のアレルギイ疾患発症抑制効果の検討	松本 かおり	子どものこころの発達研究センター	3,000,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
119	近赤外線時間分解分光法を用いた姿勢変化時の脳血流と影響を与える因子の検討	入澤 寛	リハビリテーション部	100,000	円	補委	文部科学省 科学研究費
120	全ゲノムシーケンスを軸とした循環腫瘍細胞、原発巣・転移巣の特性解明と検査への応用	前川 真人	臨床検査医学	1,100,000	円	補委	文部科学省 科学研究費

小計
40件

121	質量顕微鏡を用いたヒト胎盤絨毛における生体高分子発現の解析方法の開発	伊東 宏晃	周産母子センター	1,300,000	円	補委	文部科学省科学研究費
122	毒麻疹と血管透過性:膜蛋白のプロセッシングと分子機構の解明	平川 聡史	皮膚科学	1,300,000	円	補委	文部科学省科学研究費
123	末梢血質量分析と臍帯血コアートの連携による自閉症診断マーカーの検索	森 則夫	精神医学	1,400,000	円	補委	文部科学省科学研究費
124	『リンパ球機能不全仮説』に基づくうつ病リスクのスクリーニング法の開発	鈴木 勝昭	子どものこころの発達研究センター	1,300,000	円	補委	文部科学省科学研究費
125	心拍周期の最大変動量は輸血応答性閾値を示す	森田 耕司	手術部	600,000	円	補委	文部科学省科学研究費
126	心疾患患者に対する心拍リズムと運動リズム間における同期現象の応用	竹内 真太	リハビリテーション部	800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
127	乳癌患者に対する運動トレーニングのエピジェネティクス効果の解明	森島 優	リハビリテーション部	2,100,000	円	補委	文部科学省科学研究費
128	フィラグリンモノマー形成に関わるカリクレイン5の重要性	戸倉 新樹	皮膚科学	1,500,000	円	補委	文部科学省科学研究費
129	統合失調症死後脳と周産期仮死モデル脳に共通する遺伝子メチル化の探索	武井 教使	子どものこころの発達研究センター	1,700,000	円	補委	文部科学省科学研究費
130	自閉症スペクトラム障害者の感覚過敏に果たす脳幹のミクログリア活性化の役割	豊田 志保	精神科神経科	1,400,000	円	補委	文部科学省科学研究費
131	幹細胞を用いた障害精巣の賦活化の検討	高山 達也	泌尿器科	800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
132	精子運動を亢進し受精率を改善する薬剤開発を目指したトランスレシヨナルリサーチ	杉原 一廣	産婦人科学	500,000	円	補委	文部科学省科学研究費
133	バーチャルリアリティテストによる自閉症スペクトラムの感情認知計測と教育への応用	後藤 知子	精神医学	600,000	円	補委	文部科学省科学研究費
134	癌の体細胞変異の高感度検出法(AL-COLD-PCR-SSCP)の開発と臨床応用	石川 仁子	検査部	800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
135	質量顕微鏡法を用いた肝細胞癌における脂質代謝異常の解明	森田 剛文	外科学第二	800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
136	就学前の低出生体重児母子の地域支援	中島 俊思	子どものこころの発達研究センター	500,000	円	補委	文部科学省科学研究費
137	治療抵抗性関節リウマチ患者におけるタクロリムムの薬効・副作用の変動予測法の構築	丸山 修治	薬剤部	900,000	円	補委	文部科学省科学研究費
138	オピオイド投薬患者におけるプロクロルペラジンの体内動態と薬効・副作用との関係解明	内藤 隆文	薬剤部	900,000	円	補委	文部科学省科学研究費
139	大腸がんにおける糞便と血清マイクロRNAの変化の検討とその診断への応用	栗山 茂	内科学第一	1,000,000	円	補委	文部科学省科学研究費
140	気管支喘息発作時における気道粘液過剰産生増悪メカニズムの解明とその抑制法の開発	藤澤 朋幸	検査部	1,000,000	円	補委	文部科学省科学研究費
141	母乳に含まれる抗肥満生理活性物質の探索	藤澤 泰子	小児科学	500,000	円	補委	文部科学省科学研究費
142	プロアクティブ・マネージメントを用いたアトピー性皮膚炎の新規治療法開発と作用解析	福家 辰樹	小児科学	1,600,000	円	補委	文部科学省科学研究費
143	自閉症関連環境要因暴露による胎児脳のエピジェネティック異常の解明	岩田 圭子	子どものこころの発達研究センター	1,600,000	円	補委	文部科学省科学研究費
144	ゲノムワイド関連解析およびコピー数多型解析による日本人自閉症者遺伝子解析	イスメール サンシム	子どものこころの発達研究センター	800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
145	深部情報可視化光映像技術によるリアルタイム手術支援法の新規開発	平松 良浩	外科学第二	1,200,000	円	補委	文部科学省科学研究費
146	尿路上皮癌におけるS100ファミリー蛋白発現の意義	杉山 貴之	泌尿器科学	1,300,000	円	補委	文部科学省科学研究費
147	羊水塞栓症診断のための新規ZnCP-I測定法の開発	森島 賀子	産婦人科学	500,000	円	補委	文部科学省科学研究費
148	メニエール病(内リンパ水腫)の質量分析イメージングを用いた解析	杉山 健一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	900,000	円	補委	文部科学省科学研究費
149	日本人網膜色素変性患者における原因遺伝子EYSの寄与と遺伝子変異一病態の関連解析	細野 克博	眼科学	1,500,000	円	補委	文部科学省科学研究費
150	口腔扁平上皮癌胞巣内におけるPD1陽性CD8陽性抑制T細胞の役割解明	渡邊 賀子	歯科口腔外科学	800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
151	自閉症者の愛着感情、道徳感情およびユーモアの特異性に関する機能的脳画像研究	伊藤 大幸	子どものこころの発達研究センター	1,100,000	円	補委	文部科学省科学研究費
152	強迫性障害を対象とした症状ディメンションに基づいた治療戦略	井上 淳	精神科神経科	1,200,000	円	補委	文部科学省科学研究費
153	気分変動性障害に対する行動活性化療法の効果検討	大隅 香苗	精神科神経科	1,500,000	円	補委	文部科学省科学研究費
154	白血病細胞の薬剤耐性化とエピジェネティクスの解析	坂口 公祥	小児科	500,000	円	補委	文部科学省科学研究費
155	セマフォリン発現トランスジェニックマウスにおける皮膚免疫機能と肥満細胞の検証	龍野 一樹	皮膚科学	1,200,000	円	補委	文部科学省科学研究費
156	KID症候群モデルマウスにおける発癌メカニズムの解明	藤山 俊晴	皮膚科学	1,600,000	円	補委	文部科学省科学研究費
157	皮膚虚血再灌流障害モデルにおける多機能タンパクHMGBlの役割	糟谷 啓	皮膚科	1,800,000	円	補委	文部科学省科学研究費
158	腎癌の診断治療における癌抑制遺伝子Dmp1発現の意義	甲斐 文文	泌尿器科	1,100,000	円	補委	文部科学省科学研究費
159	自閉症スペクトラム児の精神的健康と適応に関連するプロテクト要因の縦断的検討	高柳 伸哉	子どものこころの発達研究センター	1,300,000	円	補委	文部科学省科学研究費
160	プロフィラグリンC末端領域の機能解析 プロセッシングにおける分子機構の解明	坂部 純一	皮膚科学	1,200,000	円	補委	文部科学省科学研究費

小計
40件

161	接触障害者脳における新規トレーサーを用いたPET研究、活性化ミクログリアの検討	横倉 正倫	精神科神経科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補	文部科学省	
162	アプレピタントがオキシコドンの薬物動態及び有害作用発現に及ぼす影響の検討	高井 伸彦	薬剤部	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	委	科学研究費	
163	非小細胞肺癌患者におけるエルロチニブと主代謝物の血中動態に及ぼす影響因子の探索	石田 卓矢	薬剤部	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補	文部科学省	
164	ニューシスチス肺炎の迅速診断のための定量的PCR法の確立	山影 望	検査部	700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	委	科学研究費	
165					<input type="checkbox"/>			
							小計	4件
							総計	164件

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合には「委」に「✓」をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題 命	発表者氏名	所属部門
1	J Neurol, 260(1):207-13, 2013.	Benign hereditary chorea: dopaminergic brain imaging in patients with a novel intronic NKX2.1 gene mutation	小西高志	第一内科
2	J Clin Microbiol, 50:441-448, 2012	Role of Helicobacter pylori plasticity region genes for development of gastroduodenal diseases	杉本光繁	第一内科
3	Digestion, 85:9-17, 2012.	Impact of acid inhibition on esophageal mucosal injury induced by low-dose aspirin.	杉本光繁	第一内科
4	Aliment Pharmacol Ther, 36:627-634, 2012.	Rabepazole 10mg qds decreases 24-hour intragastric acidity significantly more than rabepazole 20mg bd or 40mg om overcoming CYP2C19 genotype	杉本光繁	第一内科
5	J Clin Pharmacol, 52:432-439, 2012.	Influence of different proton pump inhibitors on activity of cytochrome P450 assessed by [13C]-aminopyrine breath test, J Clin Pharmacol, 52:432-439, 2012.	小平知世	第一内科
6	Anticancer Res, 32:105-112, 2012.	Trastuzumab Has Opposing Effects on SN-38-induced Double-strand Breaks and Cytotoxicity in HER2-positive Gastric Cancer Cells Depending on Administration Sequence	山出美穂子	第一内科
7	J Neuroimmunol, 245:66-74, 2012.	Norepinephrine suppresses IFN- γ and TNF- α production by murine intestinal intraepithelial lymphocytes via the β (1) adrenoceptor	高柳泰宏	第一内科
8	Clin Gastroenterol Hepatol, 10: 879-885, 2012.	Ability of Rabepazole to Prevent Gastric Mucosal Damage from Clopidogrel and Low Doses of Aspirin Depends on CYP2C19 Genotype	魚谷貴洋	第一内科
9	BMC Infect Dis, 12:223, 2012.	Role of Helicobacter pylori cagA EPIYA motif and vacA genotypes for the development of gastrointestinal diseases in Southeast Asian countries: a meta-analysis	佐原秀	第一内科
10	Cytokine, 61:540-545, 2013.	Statins directly suppress cytokine production in murine intraepithelial lymphocytes	Zhang J	第一内科
11	Respir Med, 106, 1164-1169, 2012.	Rheumatoid lung disease : Prognostic analysis of 54 biopsy-proven cases	中村祐太郎	第二内科
12	Sarcoidosis Vasc Diffuse Lung Dis, 29, 69-73, 2012.	Pulmonary dendritic cell accumulation in usual interstitial pneumonia and nonspecific interstitial pneumonia	須田隆文	第二内科
13	Int J Tuberc Lung Dis, 16(9), 1265-1269, 2012.	Drug lymphocyte stimulation test is not useful for side effects of anti-tuberculosis drugs despite its timing	須田隆文	第二内科
14	J Pain Symptom Manage, 44(4), 479-485,	Novel patch for transdermal administration of morphine patch for transdermal administration of morphine 2012.	千田金吾	第二内科
15	Lung Cancer, 77(3), 550-555, 2012.	Biweekly combination therapy with gemcitabine and carboplatin compared with gemcitabine monotherapy in elderly patients with advanced non-small-cell lung cancer : a randomized, phase-II study	須田隆文	第二内科
16	BMC Pulm Med, 12(1), 72, 2012.	Idiopathic Pleuroparenchymal Fibroelastosis : Consideration of a Clinicopathological Entity in a Series of Japanese Patients	中村祐太郎	第二内科
17	Int J Tuberc Lung Dis, 17(2), 240-242, 2013.	Assessment of serum KL-6 as a prognostic marker in pulmonary tuberculosis patients	須田隆文	第二内科
18	日本呼吸器学会雑誌, 1(4), 294-303, 2012.	外来市中肺炎治療における炎症性マーカーについて	千田金吾	第二内科
19	Endocr J. 59:547-554, 2012	Neuropeptide W stimulates adrenocorticotrophic hormone release via corticotrophin-releasing factor but not via arginine vasopressin	沖隆	第二内科
20	J Autoimmun. 2012 Dec;39(4):315-22	Mincle and human B cell function.	川田一仁	第二内科
21	J Gerontol A Biol Sci Med Sci 67(10): 1049-55. 2012.	Expression and function of multidrug resistance protein 1 and multidrug resistance-associated protein 1 in lung dendritic cells from aging mice. J Gerontol A Biol Sci Med Sci 67(10): 1049-55. 2012.	須田隆文	第二内科

小計
21件

22	Allergol Int. 61(2): 323-9. 2012.	Effect of switching from salmeterol/fluticasone to formoterol/budesonide combinations in patients with uncontrolled asthma. Allergol Int. 61(2): 323-9. 2012.	須田隆文	第二内科
23	Am J Respir Cell Mol Biol. 46(6): 773-80. 2012.	Mouse CD11bhigh lung dendritic cells have more potent capability to induce IgA than CD103+ lung dendritic cells in vitro. Am J Respir Cell Mol Biol. 46(6): 773-80. 2012.	須田隆文	第二内科
24	Respir Med. 106(4): 508-14. 2012.	Impact of add-on pranlukast in stable asthma; the additive effect on peripheral airway inflammation. Respir Med. 106(4): 508-14. 2012.	藤澤朋幸	第二内科
25	AnnAllergy Asthma Immunol. 108(5): 379-80. 2012.	Impaired cough-related quality of life in patients with controlled asthma with gastroesophageal reflux disease. Ann Allergy Asthma Immunol. 108(5): 379-80. 2012.	須田隆文	第二内科
26	Respir Med. 106(5): 724-9. 2012.	Clinical characteristics and prognosis of chronic pulmonary aspergillosis. Respir Med. 106(5): 724-9. 2012.	須田隆文	第二内科
27	Circ J. 77: 725-733, 2013.	“Review” Pregnancy-related acute myocardial infarction in Japan.	佐藤洋	第三内科
28	Nitric Oxide. 26(2):95-101, 2012.	Effects of nitric oxide on mitochondrial permeability transition pore and thiol-mediated responses in cardiac myocytes.	林 秀晴	第三内科
29	Heart Vessels: 2012	Ultrasound analysis of the relationship between right internal jugular vein and common carotid artery in the left head-rotation and head-flexion position.	林 秀晴	第三内科
30	Cancer Science. 1031974-8.2012.	Long-term outcome and prognostic factors of elderly patients with acute promyelocytic leukemia.	小野孝明	第三内科
31	Biol Psychiat 71:410-418; 2012 【精神医学】(Equal contribution with 1st author) [Genetics and Molecular Biology]	Elevated transcription factor Sp1 in autism brains alters the expression of autism candidate genes.	Thanseem I	精神科
32	J Hum Genet 57 (7): 449-452, 2012.	Haplotype analysis of ESR2 in Japanese patients with spermatogenic failure.	緒方勤	小児科
33	Semin Reprod Med 30 (5): 410-416, 2012.	MAMLD1 and 46,XY disorders of sex development.	緒方勤	小児科
34	Early Hum Dev 88 (7): 517-523, 2012.	Fetal myocardial tissue Doppler indices before birth physiologically change in proportion to body size adjusted for gestational age in low-risk term pregnancies.	関井克行	小児科
35	Circ J. 76(8):2009-14. 2012	Ophthalmic artery Doppler waveform in the newborn.	岩島覚	小児科
36	Am J Perinatol. 29(6): 441-8 2012.	Association of Abdominal Aortic Wall Thickness in the Newborn with Maternal Factors.	岩島覚	小児科
37	Pediatr Int.54(1):144-7. 2012	Continuous central venous oxygen saturation monitoring in a neonate.	岩島覚	小児科
38	日本小児科学会雑誌.;117(3):601-5. 2013	新生児早期に診断した心室中隔欠損の有病率と 予後.		小児科
39	Surg Endosc. 26:1898-902, 2012.	Laparoscopic trans abdominal preperitoneal inguinal hernia repair using needlescopic instruments: a 15-year, single-center experience in 317 patients.	和田英俊	第一外科
40	Int J Oncol. 40:983-94, 2012.	Array-based identification of common DNA methylation alterations in ulcerative colitis.	小倉廣之	第一外科
41	The Open Cardiovascular and Thoracic Surgery Journal 5:38-42, 2012.	Findings and Outcomes from a Retrospective Study of Non-Small Cell Lung Cancer Patients with Synchronous Solitary Brain Metastases. An Analysis of Six Cases.	船井和仁	第一外科
42	J Vasc Surg 55:1440-1448, 2012	Loss of lymphatic vessels and regional lipid accumulation is associated with great saphenous vein incompetence.	海野直樹	第二外科
43	HepatoGastroenterol 59(118-119): 1986-1989, 2012.	Peripancreatic arterial anatomy analyzed by 3-dimensional multidetector-row computed tomography.	坂口孝宣	第二外科
44	Cancer Sci. 104(5):624-30, 2013.	Effect of miR-122 and its target gene cationic amino acid transporter 1 on colorectal liver metastasis.	Iino I	第二外科
45	Gastric Cancer. 2012 Sep 11. Epub 22965813	Usefulness of three-dimensional angiographic analysis of perigastric vessels before laparoscopic gastrectomy.	Iino I	第二外科
46	Cancer Sci 2012 Oct 27, Epub 23106787	Intraperitoneal delivery of a small interferingRNA targeting NEDD1 prolongs the survival of scrrhous gastric cancer model mice.	藤田剛	第二外科

小計
25件

47	PLoS ONE 8(2):e57398, 2013. Epub 2013 Feb 27	Adventitial vasa vasorum arteriosclerosis in abdominal aortic aneurysm.	海野直樹	第二外科
48	Surg Today. Epub 2013 Mar 14. ,Epub23483326	Intraoperative lymph mapping with preoperative vein mapping to prevent postoperative lymphorrhea in paramalleolar bypass surgery in patients with critical limb ischemia.	海野直樹	第二外科
49	Surg Today Epub 2012 Nov 23.	Anomalous arterial ramification in the right liver	坂口孝宣	第二外科
50	胆道 26(4): 577-582, 2012.	胆道再建術後胆汁漏の検討: ICG胆汁漏テストの有用性	坂口孝宣	第二外科
51	静脈学23(4): 345-351, 2012.	大学病院におけるコメディカルとバスキュララボの役割ー 当科における静脈・リンパ浮腫研究と診療の発展ー.	海野直樹	第二外科
52	Neurol Med Chir (Tokyo) 53 (1): 7-11, 2013	Behavioral performance at early (4 weeks) and later (6 months) stages in rats with unilateral medial forebrain bundle and striatal 6-hydroxydopamine lesions.	難波宏樹	脳神経外科
53	Neurosci Res 74: 122-128, 2012	Quantitative evaluation of dyskinesia improved by the subthalamic nucleus stimulation in the parkinsonian monkeys.	浅川哲也	脳神経外科
54	Stem Cell Res 9: 270-276, 2012	Bystander effect in glioma suicide gene therapy using bone marrow stromal cells.	難波宏樹	脳神経外科
55	J Cereb Blood Flow Metab, 33: 415-421, 2013	Effect of subthalamic nucleus stimulation during exercise on the mesolimbocortical dopaminergic region in Parkinson's disease: A positron emission tomography study.	野崎孝雄	脳神経外科
56	Am J Neurorad, 2013, in press	Arterial spin-labeling perfusion imaging reflects angiogenesis in non-functioning pituitary macroadenomas.	酒井直人	脳神経外科
57	Neuroradiol, 2013, in press	Evaluation of tumor blood flow after feeder embolisation in meningiomas by arterial spin labeling perfusion magnetic resonance imaging, J.	難波宏樹	脳神経外科
58	Neurol Med Chir (Tokyo) 53: 496-500, 2013	Detection of Tumor Progression by Signal Intensity Increase on Fluid-Attenuated Inversion Recovery MR Images in the Resection Cavity of High-Grade Gliomas.	難波宏樹	脳神経外科
59	Anal Bioanal Chem 403(7): 1873- 1884, 2012.	Spatiotemporal alteration of phospholipids and prostaglandins in a rat model of spinal cord injury	花田 充	整形外科
60	Surgical Science 3(9):425- 429, 2012.	Arthroscopic Classification of Suprapatellar Plica and Medial Synovial Plica	花田 充	整形外科
61	Journal of Sports Medicine 3:17- 20, 2012.	Relationship between the clinical findings and radiographic severity in Osgood-Schlatter disease	花田 充	整形外科
62	Clin Orthop Relat Res 471(5):1632-1638, 2013	New radiographic index for evaluating acetabular version	小山博史	整形外科
63	J Pediatr Hematol Oncol 34(5):378-382, 2012.	Osteochondroma with metaphyseal abnormalities after total body irradiation followed by stem cell transplantation.	紫藤洋二	整形外科
64	中部整災誌55(1):129-130, 2012.	腰椎分離症に対する低出力超音波パルスの治療成績	有馬秀幸	整形外科
65	中部整災誌55(3): 505-506, 2012.	手指発生腱鞘巨細胞腫の治療成績	有馬秀幸	整形外科
66	中部整災誌55(5):1013- 1014, 2012.	Japanese PFNAを用いた大腿骨転子部骨折に対する治療 Blade挿入は骨頭中心をめざす	有馬秀幸	整形外科
67	中部整災誌55(5): 1425-1426, 2012.	スポーツによる半月板損傷に対する関節鏡視下手術後の スポーツ復帰に影響する要因の検討	花田 充	整形外科
68	JOSKAS 37(2): 270-271, 2012.	プレート固定を用いた高位脛骨骨切り術 closed wedge 法の術後5年成績の検討	花田 充	整形外科
69	日本臨床スポーツ医学会誌 20(3): 475-479, 2012.	前十字靭帯損傷の瘢痕形態と膝関節前方動揺性の関連	花田 充	整形外科
70	中部整災誌 56(1):191- 192, 2013.	前十字靭帯再建術におけるBTB法とSTG法の比較	花田 充	整形外科
71	整・災外56(2):165-170, 2013.	質量顕微鏡法の応用	花田 充	整形外科
72	中部整災誌55(2): 417-418, 2012.	FAIシミュレーションの診断・治療計画への応用	星野裕信	整形外科
73	中部整災誌55(3): 555-556, 2012.	整形外科手術後の上腹部消化器症状増悪因子の検討	星野裕信	整形外科
74	中部整災誌55(4): 719- 720, 2012.	寛骨臼回転骨切り術前後におけるACXを用いた白蓋被 覆の定量的評価	星野裕信	整形外科
75	日本人工関節学会雑誌42:307- 308, 2012.	人工股関節置換術前後における全脊柱立位矢状面バラ ンスの変化	星野裕信	整形外科
76	Hip Joint 38: 901-905, 2012.	FAIシミュレーションの診断・治療計画への応用	星野裕信	整形外科

小計
30件

77	Hip Joint 38: 879-881, 2012.	股関節唇損傷患者におけるcamとpincerの単純X線上の定量的評価の検討	星野裕信	整形外科
78	Hip Joint 38: 720-722, 2012.	白蓋形成不全症患者における関節軟骨損傷部位と白蓋前方被覆との関連.	星野裕信	整形外科
79	Hip Joint 38: 557-559,2012.	寛骨臼回転骨切り術における矢状面での白蓋形態評価	星野裕信	整形外科
80	Hip Joint 38: 114-118,2012.	3D解析ソフトZed Hipを用いたFAIモデルの作成	星野裕信	整形外科
81	日本小児整形外科学会雑誌21(1):32-35, 2012.	特別支援学校での整形外科検診におけるWeeFIMによるADL評価	星野裕信	整形外科
82	中部整災誌56(1):33-34,2013.	股関節唇損傷に対する股関節唇部分切除術の中期成績	星野裕信	整形外科
83	J.Spine-Res 3 (7): 1061-1068, 2012.	第5腰椎神経根椎間孔部・椎間孔外部障害における単純斜位MRI	小林祥	整形外科
84	臨整外47(9):823-827,2012.	術中脊髄モニタリングのアラームポイント 日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会報告	小林祥	整形外科
85	脊髄機能診断学 33(1):176-180, 2012.	Double-train経頭蓋電気刺激による術中脊髄機能モニタリング	小林祥	整形外科
86	脊髄機能診断学2012 34(1):85-89, 2013.	術中脊髄モニタリングのアラームポイント. 脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設前向き研究	小林祥	整形外科
87	脊髄機能診断学2012 34(1): 90-93, 2013.	Double-train経頭蓋電気刺激による術中脊髄機能モニタリング	小林祥	整形外科
88	中部整災誌 56(1):127-128, 2013	診断に難渋した硬膜外血管腫の2例	小林祥	整形外科
89	脊椎脊髄 26(3):197-201, 2013.	後縦靭帯骨化症における術中脊髄モニタリング	小林祥	整形外科
90	中部整災誌 55(4):709-710, 2012.	単純X線正面像を用いた白蓋被覆の3次元評価	小山博史	整形外科
91	Hip Joint 38: 885-888, 2012.	当科で考案した単純X線像での白蓋前・後捻の指標と骨盤傾斜の関係 -MPR/DRR画像を用いた検討-	小山博史	整形外科
92	日本人工関節学会誌42: 301-302,2012.	変形性関節症と脊椎・下肢sagittal balance	小山博史	整形外科
93	中部整災誌56(1):55-56, 2013	膝屈曲拘縮と脊椎sagittal balance.	小山博史	整形外科
94	JOSKAS 38 (2): 286-287, 2013.	TKAと脊椎・下肢sagittal balance	小山博史	整形外科
95	整・災外55(1):13-18, 2012.	小児の脊椎腫瘍-症候, 診断, 予後, 術後の脊柱変形-	松山幸弘	整形外科
96	整・災外55 (3): 278-279, 2012.	脊髄髄内腫瘍への手術的アプローチ(2)-海綿状血管腫-	松山幸弘	整形外科
97	静岡整形誌5(1):25-27,2012.	当科における鏡視下Bankart修復術の術後成績	澤田智一	整形外科
98	日手会誌29(3):175-177,2012.	重度手根管症候群における電気生理学的回復の検討	澤田智一	整形外科
99	日手会誌29(3):172-174,2012.	手根管症候群術後における電気生理学的回復の検討	澤田智一	整形外科
100	脊髄機能診断学 33 (1): 100-103, 2012.	術中神経根障害をCMAPモニタリングで感知しえた2例	安田達也	整形外科
101	脊髄機能診断学2012 34(1):194-197, 2013	腰椎変性側弯症における術中脊髄モニタリング	安田達也	整形外科
102	J Dermatol Sci 69: 140-147, 2013. [3.718]	GXCL10 produced from hair follicles induces Th1 and Tc1 cell infiltration in the acute phase of alopecia areata followed by sustained Tc1 accumulation in the chronic phase.	伊藤泰介	皮膚科
103	Acta Derm Venereol 93: 181-182, 2013. [3.176]	Clearance Efficacy of Autoantibodies in Double Filtration Plasmapheresis for Pemphigus Foliaceus.	糟谷啓	皮膚科
104	Eur J Dermatol 22: 272-273, 2012. [2.526]	Decreased expression of homeostatic chemokine receptors in intravascular large B-cell lymphoma.	糟谷啓	皮膚科
105	Jpn J Clin Oncol 42 : 477-484, 2012.	The efficacy and safety of degarelix, a GnRH antagonist : A 12-month, multicentre, randomized, maintenance dose-finding phase II study in Japanese patients with prostate cancer.	大園誠一郎	泌尿器科
106	Ophthalmic Genet 32, 83-88.	(2012) Clinical features of a Japanese case with Bothnia dystrophy.	野嶋計寿	眼科
107	Invest Ophthalmol Vis Sci 53:8396-8404, 2012.	(2012)A novel distribution of visual field test points to improve the correlation between structure-function measurements.	朝岡亮	眼科
108	臨眼 66 (10) : 1497-1502.	(2012) 慢性進行性外眼筋麻痺の口腔粘膜からの遺伝子診断	鳥居薫子	眼科
109	Acta Otolaryngol. 2012 Dec;132(12):1324-33 [1.084]	Using intravital microscopy to observe bevacizumab-mediated anti-angiogenesis in human head and neck squamous cell carcinoma xenografts.	大和谷素	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
110	J Cancer Res Clin Oncol. 2012 Mar;138(3):491-9. [2.485]	Autocrine epidermal growth factor receptor ligand production and cetuximab response in head and neck squamous cell carcinoma cell lines.	Oshima G.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

小計
35件

111	Otol Neurotol. 2012 Apr;33(3):450-4. [1.904]	Surgical approach for treatment of carcinoma of the anterior wall of the external auditory canal.	細川誠二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
112	Cancer Biomarkers ; 10:135-144, 2012 [1.067]	Hypermethylation of Collagen α2(I) Gene (COL1A2) is a Potential Biomarker in Head and Neck Cancer.	三澤清	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
113	J Cancer Res Clin ; 139:879-889, 2013 [2.558]	Frequent promoter hypermethylation of tachykinin-1 and tachykinin receptor type 1 is a potential biomarker for head and neck cancer.	三澤清	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
114	頭頸部癌38(1): 56-59, 2012.	耳下腺腺房細胞癌の6症例	細川誠二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
115	耳鼻臨床 105(9): 821-825, 2012.	上咽頭癌放射線治療後に側頭骨壊死をきたした3例	大和谷崇	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
116	Clin Exp Obstet Gyn, 2012.	Feto-Umbilical blood flow obstruction increases placental tissue oxygenation.	鈴木一有	産婦人科学
117	Clin Exp Obstet Gyn 39(3): 293-298, 2012.	Transient ligation of umbilical vessels elevates placental tissue oxygen index (TOI) values measured by near-infrared spectroscopy (NIRS) in clawn miniature pig animal model.	鈴木一有	産婦人科学
118	Reprod Sci 7, 2013.	Association Between Body Weight at Weaning and Remodeling in the Subcutaneous Adipose Tissue of Obese Adult Mice With Undernourishment In Utero.	幸村友季子	産婦人科学
119	Cytotechnology 65(2): 173-178, 2013.	Fusion of fluorescent protein to puromycin N-acetyltransferase is useful in Drosophila Schneider S2 cells expressing heterologous proteins.	長橋ことみ	産婦人科学
120	Clin Physiol Funct I 33(2): 109-116, 2013.	Cerebral oxygen saturation evaluated by near-infrared time-resolved spectroscopy (TRS) in pregnant women during caesarean section - a promising new method of maternal monitoring.	山崎香織	産婦人科学
121	J Biol Chem. 287(9): 6592-6602, 2012.	Identification of mono- and di-sulfated N-acetyl-lactosaminyl oligosaccharide structures as epitopes specifically recognized by humanized monoclonal antibody HMOCC-1 raised against ovarian cancer.	柴田俊章	産婦人科学
122	Plast Reconstr Surg,130,451-455, 2012.	Development of a three-microneedle device for hypodermic drug delivery and clinical application	深水秀一	形成外科
123	J Dermatol,39,745-748,2012.	Lymphatic flow obstruction by tumor demonstrated using real-time fluorescence navigation	金大志	形成外科
124	J Craniofacial Surg,23, e369-371, 2012.	Hemiforehead flap for reconstruction of composite facial Defects	藤原雅雄	形成外科
125	J Trauma Acute Care Surg ; 72, 1614-1619, 2012	Influence of progressive hemorrhage and subsequent cardiopulmonary resuscitation on the bispectral index during isoflurane anesthesia in a swine model	栗田忠代士	手術部
126	Resuscitation 83(10): e193 2012	Does the bispectral index (BIS) during haemorrhagic shock and resuscitation reflect a change in cerebral perfusion or simply reflect the anaesthetic depth?	栗田忠代士	手術部
127	Paediatr Anaesth 22: 1185-1190, 2012	Bronchial intubation could be detected by the visual stethoscope techniques in pediatric patients	木村哲朗	手術部
128	Acta Anaesthesiol Scand. 2013 Jan	Influence of cardiac output on the pseudo-steady state remifentanyl and propofol concentrations in swine.	栗田忠代士	手術部
129	日本集中治療医学会雑誌 19 (3): 353-358, 2012[0]	腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術後の急性腎傷害の発生頻度と特徴についての考察 - 開腹人工血管置換術との比較 -	板垣大雅	集中治療部
130	Respirology. 18(3):522-7, 2013	Alveolar nitric oxide concentration reflects peripheral airway obstruction in stable asthma	藤澤朋幸	検査部
131	Annals of Clinical Biochemistry, 49(3), 266-272, 2012	Investigation of unexpected serum CA19-9 elevation in Lewis-negative cancer patients	濱田悦子	検査部
132	J Clin Pharm Ther 37: 217-220, 2012	Effective plasma concentrations of mycophenolic acid and its glucuronide in systemic lupus erythematosus patients in remission-maintenance phase	川上純一	薬剤部
133	Drug Metab Pharmacokinet 27: 248-254, 2012	Impact of concomitant antacid administration on gabapentin plasma exposure and oral bioavailability in healthy adult subjects	川上純一	薬剤部
134	薬学雑誌 132: 675-681, 2012	造血器悪性腫瘍患者におけるグラニセトロン注射薬の1mg/body投与と3mg/body投与による制吐効果及び有害事象	川上純一	薬剤部
135	Biomed Chromatogr 26: 754-760, 2012	Simultaneous determination of prochlorperazine and its metabolites in human plasma using isocratic liquid chromatography tandem mass spectrometry	川上純一	薬剤部
136	Pharmacoepidemiol Drug Saf 22: 886-889, 2012	Detection of fluoroquinolone-induced tendon disorders using a hospital database in Japan	川上純一	薬剤部

小計
25件

137	Drug Metab Pharmacokinet 27: 414-421, 2012	Impact of CYP3A5 and ABCB1 gene polymorphisms on fentanyl pharmacokinetics and clinical responses in cancer patients undergoing conversion to a transdermal system	川上純一	薬剤部
138	Eur J Clin Pharmacol 68: 1411-1418, 2012	Impact of cachexia on pharmacokinetic disposition of and clinical responses to oxycodone in cancer patients	川上純一	薬剤部
139	Clin Chim Acta 414: 120-124, 2012	Impact of CYP3A5 genetic polymorphism on cross-reactivity in tacrolimus chemiluminescent immunoassay in kidney transplant recipients	川上純一	薬剤部
140	Biol Pharm Bull 35: 2043-2049, 2012	Comparison of contamination levels on the exterior surfaces of vials containing platinum anticancer drugs in Japan	川上純一	薬剤部
141	Clin Chim Acta 145: 128-132, 2013	Hydroxy-itraconazole pharmacokinetics is similar to that of itraconazole in immunocompromised patients receiving oral solution of itraconazole	川上純一	薬剤部
142	日本病院薬剤師会雑誌 49: 283-286, 2013	日本における製薬企業による医療用医薬品の自主回収の実態調査	川上純一	薬剤部
143	Journal of cancer therapy.4.513-517,2013	Radiotherapy and Chemotherapy in T2N0 Glottic Cancer: Does Chemotherapy Improve Local Control?	小杉素	放射線部
144	日本輸血細胞治療学会誌 58(3)492-499, 2012.	日本の大学病院における輸血医学教育の現状と問題点 平成21年度大学病院輸血部会議「教育に関する調査報告」(2)	藤原晴美	輸血・細胞治療部
145	日本輸血細胞治療学会誌 59(1), 67-72, 2013	輸血後劇症肝炎の経験から得られた感染症検査の改善点と課題	山田千亜希	輸血・細胞治療部
146	Int J Hematol 97, doi, 10.1007/s12185-013-1365-1; 2013.	Efficacy and resistance of gemtuzumab ozogamicin for acute myeloid leukemia.	竹下明裕	輸血・細胞治療部
147	日本輸血細胞治療学会誌 59(3)476-481, 2013.	手術室との連携の向上を目的とした画像モニタリングと輸血情報システム	古牧宏啓	輸血・細胞治療部
148	Ther Apher Dial 16 (3): 232-241, 2012.【腎臓内科学】、[1.39]	Brachial-ankle pulse wave velocity and the cardio-ankle vascular index as a predictor of cardiovascular outcomes in patients on regular hemodialysis.	加藤明彦	血液浄化療法部
149	the JALSG CML202 study, Cancer Sci ,103(6),1071-8, 2012.	Long-term outcome following imatinib therapy for chronic myelogenous leukemia, with assessment of dosage and blood levels	大西一功	臨床腫瘍学講座
150	Anticancer Res, 32, 105-112, 2012.	Trastuzumab Has Opposing Effects on SN-38-induced Double-strand Breaks and Cytotoxicity in HER2-positive Gastric Cancer Cells Depending on Administration Sequence	山出美穂子	臨床腫瘍学講座
151	Cancer Sci. 104(5):624-30, 2013.	Effect of miR-122 and its target gene cationic amino acid transporter 1 on colorectal liver metastasis.	Iino I	光学医療診療部
152	Gastric Cancer. 2012 Sep 11. Epub 22965813	Usefulness of three-dimensional angiographic analysis of perigastric vessels before laparoscopic gastrectomy.	Iino I	光学医療診療部
153	Cancer Sci 2012 Oct 27, Epub 23106787	Intraperitoneal delivery of a small interferingRNA targeting NEDD1 prolongs the survival of scrrhous gastric cancer model mice.	藤田剛	光学医療診療部
154	Thyroid 23:443-448, 2013	Inappropriate Elevation of Serum Thyrotropin Levels in Patients with Axitinib	大場健司	救急災害医学講座
155	Am J Physiol Heart Circ Physiol,1;303(3),H332-40,2012.	Blockade of ATP-sensitive potassium channels prevents the attenuation of the exercise pressor reflex by tempol in rats with ligated femoral arteries	山内克哉	リハビリテーション部
156	理学療法学,39(3),178-185,2012.	歩行運動における心拍-運動リズム間の同期現象の誘発	美津島隆	リハビリテーション部
157	JAMA Psychiatry. 70(1):49-58, Mar 2013【精神医学】 [12.00]	Microglial activation in young adults with autism spectrum disorder.	鈴木勝昭	子どものこころの発達研究センター
158	J Autism Dev Disord. 43(3):643-62, 2013【児童精神医学】 [3.34]	Reliability and validity of autism diagnostic interview-revised, Japanese version.	土屋賢治	子どものこころの発達研究センター
159	PLoS One. 7(12):e52057, 2012【一般科学】 [4,10]	Seasonal variations of neuromotor development by 14 months of age: Hamamatsu Birth Cohort for mothers and children (HBC Study).	土屋賢治	子どものこころの発達研究センター
160	Mol Autism. 3(1):12, 2012【精神医学】 [5.33]	Brain region-specific altered expression and association of mitochondria-related genes in autism.	Anitha A	子どものこころの発達研究センター
161	Brain Pathol. 2013 May;23(3):294-302.【神経科学】 [6.60]	Downregulation of the expression of mitochondrial electron transport complex genes in autism brains.	Anitha A	子どものこころの発達研究センター

小計
25件

162	J Psychiatr Neurosci (in press) 【遺伝学】[5.34]	Protocadherin alpha (PCDHA) as a novel susceptibility gene for autism.	Anitha A	子どものこころの発達研究センター
163	Mol Autism. 3(1):11, 2012【神経科学、精神医学】[5.33]	Vldlr overexpression causes hyperactivity in rats.	岩田圭子	子どものこころの発達研究センター
164	Mol Autism. 2013 Mar 26;4(1):6. 【神経科学、精神医学】[5.30]	Enzymes in the glutamate-glutamine cycle in the anterior cingulate cortex in postmortem brain of subjects with autism.	新村千江	子どものこころの発達研究センター
165	中京大学現代社会学部紀要, 第6巻, P 137~P 145, 【心理学】[-]	福島県の学校における子どものこころの支援(1) — “こころの教育” プログラムの実践	辻井正次	子どものこころの発達研究センター
166	臨床精神医学・41・P911-P924. 【臨床精神医学】[-]	共著「日本語版Strengths and Difficulties Questionnaireの構成概念妥当性の検証：1郊外市の全数コホートデータを用いた検討。」平成24年7月	中島俊思	子どものこころの発達研究センター
167	発達心理学研究・23・P264-P275.【心理学】[-]	共著「発達障害児の保護者における養育スタイルの特徴。」平成24年9月	中島俊思	子どものこころの発達研究センター
168	小児の精神と神経・53・[-]	「3歳児健診における保健師によるPARS短縮版活用の可能性と課題」共著平成25年3月	中島俊思	子どものこころの発達研究センター
169	精神医学 第54巻P.911~P.914, 2012年, 【精神医学】[-]	3歳児健診における広汎性発達障害児早期発見のためのスクリーニングツール PARAS短縮版導入の試み	中島俊思	子どものこころの発達研究センター
170	精神医学, 54, 889-898, 2012. 【心理測定学】[-]	日本版Vineland-II適応行動尺度の開発：不適応行動尺度の信頼性・妥当性に関する報告	伊藤大幸	子どものこころの発達研究センター
171	精神医学, 印刷中. 【心理測定学】[-]	日本版感覚プロフィールの標準化：信頼性および標準値の検討	伊藤大幸	子どものこころの発達研究センター
172	発達心理学研究, 印刷中. 【精神病理学】[-]	保育記録による発達尺度 (NDSC) の構成概念妥当性：尺度構造の検討と月齢および不適応問題との関連	伊藤大幸	子どものこころの発達研究センター
173	精神医学, 55, 263-272, 2013. 【精神病理学】[-]	保育記録による発達尺度改訂版 (NDSC-R) の開発：信頼性および妥当性の比較	伊藤大幸	子どものこころの発達研究センター
174	精神医学, 印刷中. 【精神病理学】[-]	保育記録による発達尺度改訂版 (NDSC-R) の標準化：月齢区分ごとの標準値およびカットオフ値の検討	伊藤大幸	子どものこころの発達研究センター
175	臨床精神医学, 第42巻第7号, P.925~P.932, 2012年, 【精神医学】[-]	小中学校における欠席行動と抑うつ、攻撃性との関連	高柳伸哉	子どものこころの発達研究センター
176	精神医学, 55, 355-362, 2013. 【精神病理学】[-]	小中学生における欠席行動と教師評定による学校適応との関連	高柳伸哉	子どものこころの発達研究センター
177	臨床精神医学 第42巻2号, P. 247~255. 【精神医学】[-]	小中学生を対象とした日本語版Strengths and Difficulties Questionnaire教師評定フォームの標準化と心理測定学的特徴の検討：単一市内全校調査を用いて	野田航	子どものこころの発達研究センター
178	臨床精神医学・54・P383-P391. 【精神医学】[-]	共著「日本語版Strengths and Difficulties Questionnaire 親評定フォームについての再検討：単一市内全校調査に基づく学年・性別の標準得点とカットオフ値の算出」平成24年4月	野田航	子どものこころの発達研究センター
179	臨床精神医学, 42, 119-127, 2013. 【精神病理学】[-]	日本語版Strengths and Difficulties Questionnaire自己評定フォームの信頼性・妥当性の検討	野田航	子どものこころの発達研究センター
180	臨床精神医学, 印刷中. 【精神病理学】[-]	小中学生を対象とした日本語版Strengths and Difficulties Questionnaire教師評定フォームの標準化と心理測定学的特徴の検討：単一市内全校調査を用いて	野田航	子どものこころの発達研究センター
181	精神医学, 第54巻(7):673-680, 2012 [-]	一般中学生における自傷行為の経験および頻度と抑うつとの関連：単一市内全校調査に基づく検討	大嶽さと子	子どものこころの発達研究センター
182	J Gerontol A Biol Sci Med Sci, 67(10):1049-1055, 2012.	Expression and Function of Multidrug Resistance Protein 1 and Multidrug Resistance-Associated Protein 1 in Lung Dendritic Cells From Aging Mice.	乾直輝	臨床薬理学
183	J Pain Symptom Management, 44(4):479-485, 2012.	Novel patch for transdermal administration of morphine.	乾直輝	臨床薬理学
184	J Pharmacol Sci, 120(1):59-62, 2012.	Inhibitory effect of cibenzoline on Na(+)/Ca(2+) exchange current in Guinea-pig cardiac ventricular myocytes.	渡邊裕司	臨床薬理学
185	臨床評価, 40(1):5-18, 2012.	治験と臨床研究の新しい潮流 国内動向 医師主導治験の現状と課題.	渡邊裕司	臨床薬理学
186	Gene, 510, 1-6, 2012.	Replication timing in a single human chromosome 11 transferred into the Chinese hamster ovary (CHO) cell line.	渡邊良久	臨床検査医学

小計
25件

187	Journal of GHR 2: 403-407. 2013、【消化器病学】、[IF 0.000]	Rapid Automated Genotyping of CYP2C19 and the <i>Helicobacter pylori</i> 23S rRNA Gene in Gastric Juice.	古田隆久	臨床研修管理センター
188	Family Medicine. 2012;44(7):478-85	“Outpatient Precepting of International Medical Graduates in Family Medicine”	鳴本敬一郎	産婦人科家庭医療学講座
189	医療情報学,32,27-34, 2012.	病院内医療情報のフル活用を目指して-院内Rawデータの 有効活用-	小林利彦	医療福祉支援センター

小計
3件
総計
189件

- (注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 瀧川 雅浩	
管理担当者氏名	総務課長 田中 晃人	放射線部長 阪原 晴海
	人事課長 大木 清造	薬剤部長 川上純一
	医事課長 柘植 智司	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院治療計画書		医事課 (ただし、電子化により、処方箋は薬剤部、手術記録は手術部、看護記録は看護部、放射線医用画像は放射線部でそれぞれ管理している。)	カルテは、一患者1IDとし、入院及び外来ともに診療情報室において保存管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者を明らかにする帳簿	人事課	/
	高度医療の提供の実績	医事課	
	高度医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度医療の研修の実績	医事課	
	閲覧実績	医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
	規則第1条の1第1項各号及び第9条の2第1項第1号に掲げる体制 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課
		院内感染のための委員会の開催状況	医事課
		従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医事課
		従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医事課
		従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療の提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	次長(病院担当) 神村 茂
閲覧担当者氏名	医事課長 柘植 智司
閲覧の求めに応じる場所	閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療の提供の実績

紹介率	74.5%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数	12,110人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	5,613人	
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数	3,130人	
	D : 初診の患者の数	22,376人	

- (注) 1 「紹介率」欄はA、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dはそれぞれの延べ数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・指針の主な内容</p> <p>安全管理に関する基本的な考え方</p> <p>安全管理体制確保のための委員会組織等</p> <p>医療事故発生時の対応等</p> <p>診療科及び中央診療施設ごとに安全管理のためのマニュアルを設置し、適切に対応</p> <p>患者からの医療の安全に関する相談・苦情等に対応するため患者相談窓口を設置</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>医療安全管理体制の確保に関すること</p> <p>医療事故等の把握、分析、対処改善及び評価に関すること</p> <p>医療安全管理のための職員研修に関すること</p> <p>その他の医療の安全管理に関すること</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 16 回
<p>・研修の主な内容</p> <p>講演会3回(全職員対象)</p> <p>医療安全管理及び感染対策に係る新任者研修6回(中途採用職員対象)</p> <p>研修医ガイダンス1回(医療事故・安全対策について)</p> <p>新採用者オリエンテーション3回(事故防止に関すること等)</p> <p>サマーセミナー2回</p> <p>看護助手研修1回</p>	
<p>④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況</p> <p>・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>医療事故対策チームを設置し、医療事故につながる重篤な事態が生じた場合、速やかに患者の状態を確認し、主治医に専門分野としての判断による指示を与え治療に対する支援を行う。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2 名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(1 名) <input type="checkbox"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・所属職員: 専任(2)名 兼任(19)名</p> <p>・活動の主な内容</p> <p>医療事故及びインシデントの収集、調査、分析に関すること</p> <p>医療事故防止対策の立案及び周知に関すること</p> <p>リスクマネージャーとの連絡調整に関すること</p> <p>医療事故防止に係る教育、研修、啓発の立案に関すること</p>	
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・指針の主な内容</p> <p>院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策に関する管理組織機構 職員研修に関する基本方針 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 アウトブレイクあるいは異常対応発生時の対応に関する基本方針 患者等への情報提供と説明に関する基本方針 その他院内感染対策推進のための基本方針</p>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>審議事項 毎回1～2事項 報告事項 1)感染症情報レポート 2)MRSAサーベイランス報告 3)ICTラウンド・コンサルテーション報告 4)病棟別・診療別抗菌薬使用状況の報告 5)院内手指消毒用アルコール消費量集計</p>	
③ 従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	年 24 回
<p>・研修の主な内容</p> <p>感染対策講習会 : 年2回(①SSI・抗菌薬適正使用・手指衛生 ②耐性菌対策) 医療安全・感染対策合同研修 : 1回(VTE・尿道留置カテーテル管理) 研修医 : 2回 新採用看護師 : 3回 ・ 看護助手研修 : 2回 ・ 中途採用看護師・看護助手研修 : 9回 部署別研修(結核・手指衛生など) : 5回 委託業者研修 : 2回</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>週1回のICTラウンドによる抗菌薬適正使用、感染対策の確認 院内Web内感染対策ホームページによる情報提供 ICT NEWSによる情報提供、注意喚起</p>	

医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>オーダー入力における医療事故防止対策</p> <p>レジメンオーダー入力及び抗がん剤投与チェック体制</p> <p>医薬品の安全な使用に関する基本的事項</p> <p>静脈注射における留意点</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	年 1 回
<p>・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・業務の主な内容</p> <p>医薬品安全管理業務の点検及び手順書の改訂(年1回)、外来及び中央診療部門の医薬品点検(月1回)</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>新規採用にあたりメーカーから添付文書、インタビューフォームなどの情報提供を受ける。また、添付文書改訂時にも提供を受ける。</p> <p>PMDAメディナビの情報配信や医薬品医療機器総合機構などのWEBサイト検索により情報を得る。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 ・活動の主な内容 医政指発第0330001号、医政研発第0330018号に従った特定高度管理医療機器を中心に、高度管理医療機器、一般医療機器などを含めた院内使用頻度の高い機器の医療従事者を対象とする研修会を平成24年度に41件実施した。また、各講習会の参加者、講師、内容を記録している。	年 41 回
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 ・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・保守点検の主な内容 24年度医療機器管理部の所轄する医療機器の保守点検・修理を1,460回(点検:1,036【内部】、91【業者委託】、修理:203【内部】、130【業者委託】)行った。 点検計画は、機器添付マニュアルの推薦する頻度、条件に従い点検項目、時期を決定している。	年 1,127 回
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 ・医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 当該機器メーカーからの安全性情報及び医薬品、医療機器総合機構からの安全性情報を収集(自動配信メールリストに登録)し、医療機器管理部の院内ホームページにて広報するとともに、当該機器関連部署に文書にて連絡する。また、総合リスク管理者(GRM)経由、医療安全管理委員会へ通達している。 また、医療安全に拘わる委員として、医療安全管理室会議出席:1回/月、医療安全リスクマネージャ会議出席:4回/年、医療安全カンファレンス出席:4回/月、医療安全管理委員会:1回/月に参加している。	